
SSB/SCB T-4 ハードウェア セットアップガイド

Rev. 1.1

2017.03.29

目次

1	ハードウェア仕様	1
1.1	ハードウェア仕様	1
1.2	付属品	1
2	外観	2
2.1	前面	2
2.2	背面	3
3	IPMI インターフェースの設定手順	3
3.1	BIOS セットアップ画面を表示する	3
3.2	IPMI の設定を行う	5
3.3	設定情報の保存	5
4	ラックへの装着作業前の事前注意事項	6
4.1	ラック作業前の注意事項	6
4.2	一般的なサーバーに関する取扱注意事項	6
4.3	ラックへの装着手順	6
4.3.1	内側レールの取り付け	7
4.3.2	外側レールのラックへの取り付け	8
4.3.3	シャーシのラックへの取り付け	9
4.4	Telco(Two Post) ラックへのマウント	10
4.4.1	Telco ラックへのシャーシの取り付け	10
5	ブートデバイスの変更手順	11
5.1	BIOS セットアップ画面を表示する	11
5.2	BOOT デバイスを変更する	12
5.3	変更した設定の保存	12

1 ハードウェア仕様

1.1 ハードウェア仕様

BalaBit 社 T-4 は、下記のハードウェアで構成されています。

高さ	1U
外形寸法	432 x 43 x 650 mm (突起物含まず)
HDD	SATA 2 TB x 4 (RAID-10)
電源	アイドル時:60W、負荷時:547W AC 100-240v、50-60Hz、6.1-2.6Amp 冗長化電源
Ethernet ポート	Ethernet ポート x5 (IPMI を含む)
USB ポート	(背面) x2
ディスプレイコネクタ	VGA ポート
キーボードコネクタ	PS/2 キーボードコネクタ
マウスコネクタ	PS/2 マウスコネクタ

表1-1 T-4 ハードウェア仕様

1.2 付属品

電源ケーブル 2 本

ラックマウントキット 1 セット

2 外観

2.1 前面

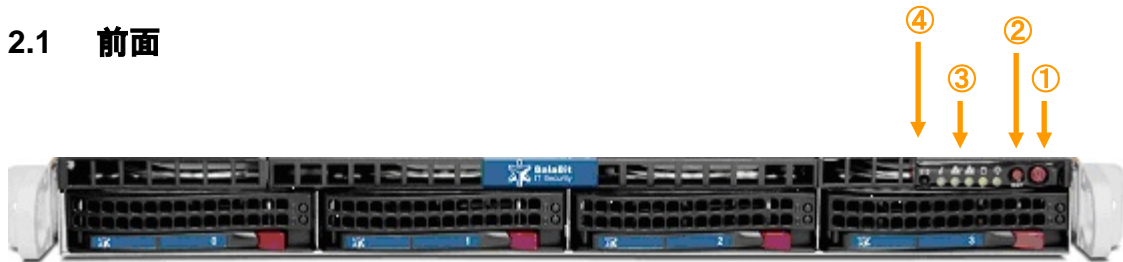


図2-1 前面パネル

- ① 電源スイッチ
- ② リセットスイッチ
- ③ 状態表示 LED（左より）
- ④ UID ボタンは、青色機能をオンまたはオフにするために使用されます。
オンにすると下記 information LED が青色に点灯します。



Information LED

- 赤色が常時点灯時： オーバーヒートが発生しています。
- 赤色が点滅時(1Hz)は： ファンの故障を示しています。ファンをチェックしてください。
- 赤色が低速点滅時(0.25Hz)： 電源異常を示しています。電源をチェックしてください。
- 青色が常時点灯時： 識別用ユニット ID UID ボタンで設定
ラック内のサーバーの識別に使用します。
- 青色が高速点滅時： 識別用ユニット ID IPMI で設定
ラック内のサーバーの識別に使用します。



NIC2: ネットワーク 2 にアクセスしている時に点滅します。



NIC1: ネットワーク 1 にアクセスしている時に点滅します。



HDD: ハードディスクにアクセスしている時に点滅します。



電源: 電源装置に電力が供給されていることを示します。使用中は点灯しています。

2.2 背面

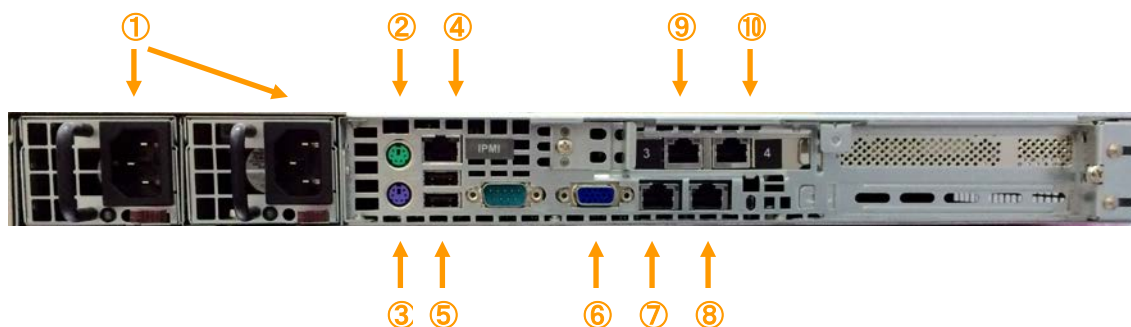


図2-2 背面

- ① 電源コネクタ
- ② PS/2 マウスコネクタ
- ③ PS/2 キーボードコネクタ
- ④ IPMI インターフェース (Ethernet ポート)
- ⑤ USB コネクタ x 2
- ⑥ VGA ディスプレイコネクタ
- ⑦ LAN Port1 (Ext)
- ⑧ LAN Port2 (MGMT)
- ⑨ LAN Port3 (INT)
- ⑩ LAN Port4 (HA)

3 IPMI インターフェースの設定手順

IPMI インターフェースを使用すると、リモートよりシステムの状態を確認したり、仮想 CD-ROM にアクセスできたりします。ここでは、IPMI インターフェースの設定手順を説明します。

3.1 BIOS セットアップ画面を表示する

BIOS ロゴが表示されている画面で、DEL キーを押します。

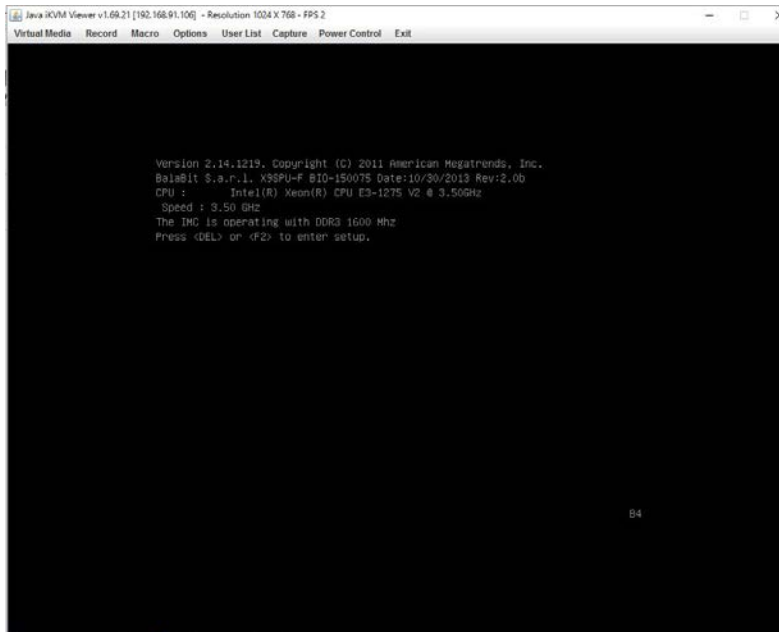


図3-1 BIOS ログ画面

しばらくすると、BIOS 設定変更画面が表示されます。

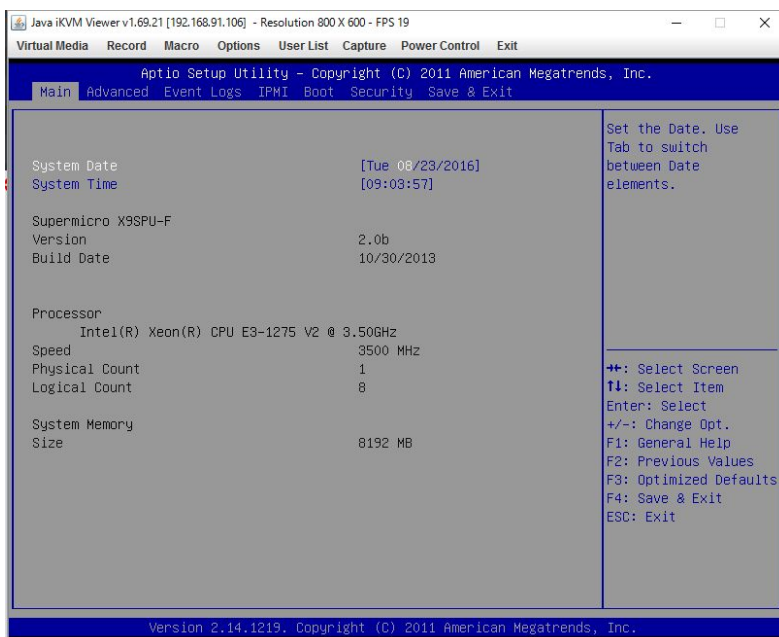


図3-2 BIOS 設定変更画面

3.2 IPMI の設定を行う

上部メニューより、**IPMI** をクリックし、**BMC network configuration** をクリックします。

Update IPMI LAN configuration を[Yes]にします。

IPMI インターフェースの IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイの値を入れます。

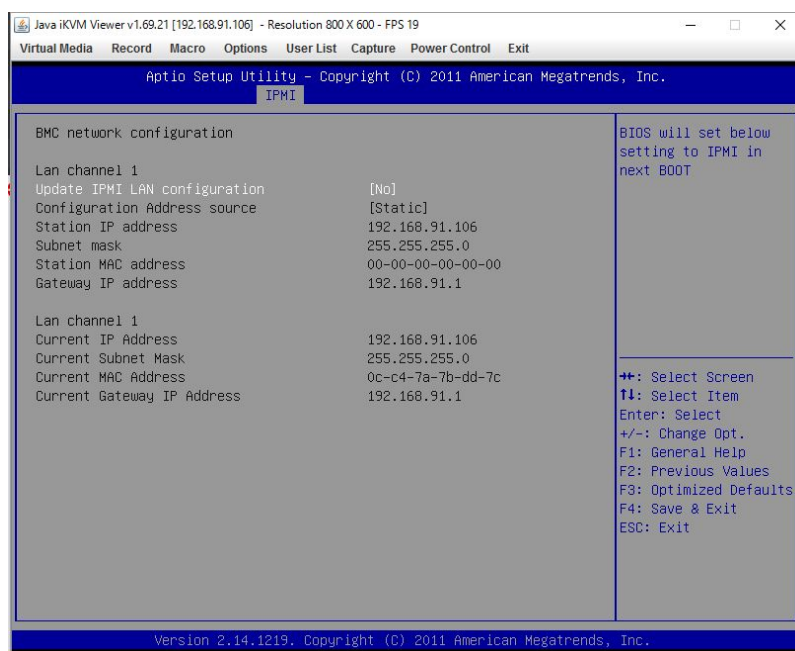


図3-3 IPMI 設定画面

3.3 設定情報の保存

F4 を押して設定を保存します。

4 ラックへの装着作業前の事前注意事項

4.1 ラック作業前の注意事項

- ラックの下面にあるレベルジャッキにより、ラックを確実に固定する
- 単体ラックの場合、動揺制止装置を装着する
- 複数のラックが導入されている場合は、ラック同士を結合する
- ラックから製品を引き出す場合には、ラックが安定状態であることを確認する
- ラックより製品を引き出す際には、同時に複数の製品を引き出さない

4.2 一般的なサーバーに関する取扱注意事項

- シャーシに追加するコンポーネントの電気と安全に関する注意事項を確認する
- ラックにレールを装着する前に、各製品の設置位置を決める
- 重たい製品は下方に設置する。また、下から設置するようにする
- サーバーを、電源を原因とする障害から保護するためにUPSの使用を検討する
- hot plug 関連の装置を外す際には、熱くないことを確認してから作業をする
- 冷却のため、ラックのドアやサーバーのカバー等は閉めておく

4.3 ラックへの装着手順

BalaBit T-4(高さ 1U)は、17 インチラックに装着可能です。ここでは、ラックへ装着する際の手順について説明します。

ラックは、様々なメーカーより発売されています。製品によって、少しずつ違いがありますので、ラックに付属の説明書も参照ください。

注意： 付属のレールは、奥行きが26インチから33.5インチのラックに利用できます。

この製品はラックマウントキットが付属しています。ラックマウントキットは、2本のラック・レール・アセンブリーを含んでいます。

各レール・アセンブリーは、二つの部分からなります。製品本体に装着する内側シャーシ・レールとラックに装着する外側ラックレールです。

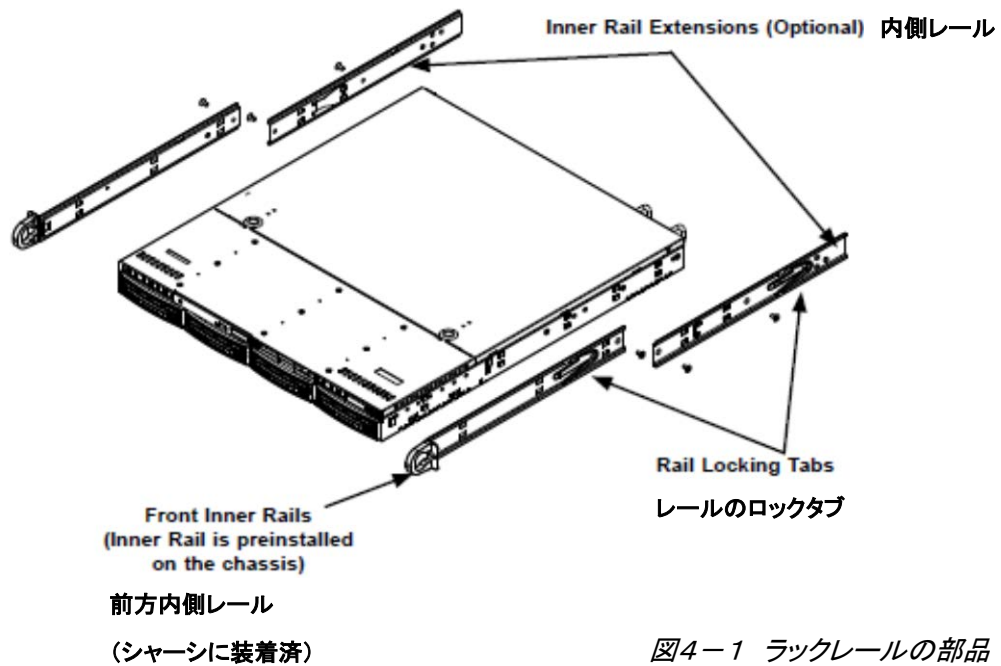


図4-1 ラックレールの部品

4.3.1 内側レールの取り付け

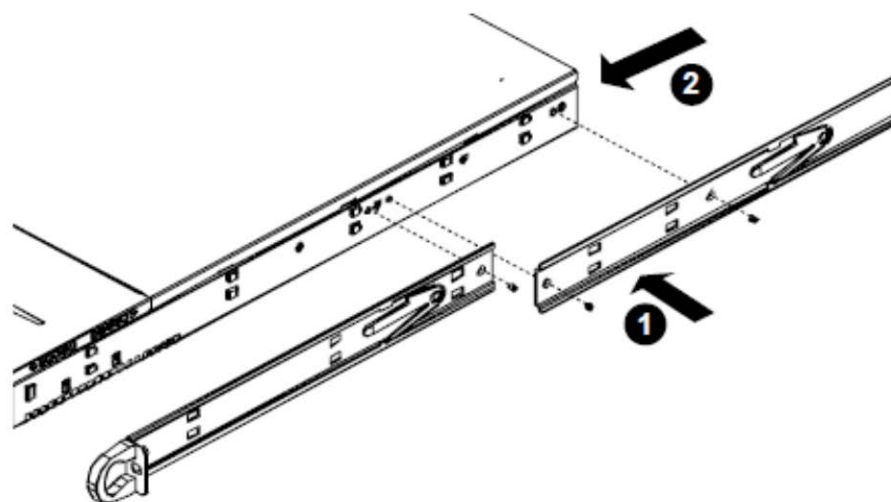


図4-2 シャーシへの内側ラックレールの取り付け

1. シャーシのフックとレールの穴が揃うようにシャーシの側面に内側レールを取り付けます。
2. レールをシャーシの前面の方にスライドさせて、レールをしっかり固定します。
3. シャーシを2つのねじで固定します。
4. もう一つの内側レールについても同様の作業を行います。

4.3.2 外側レールのラックへの取り付け

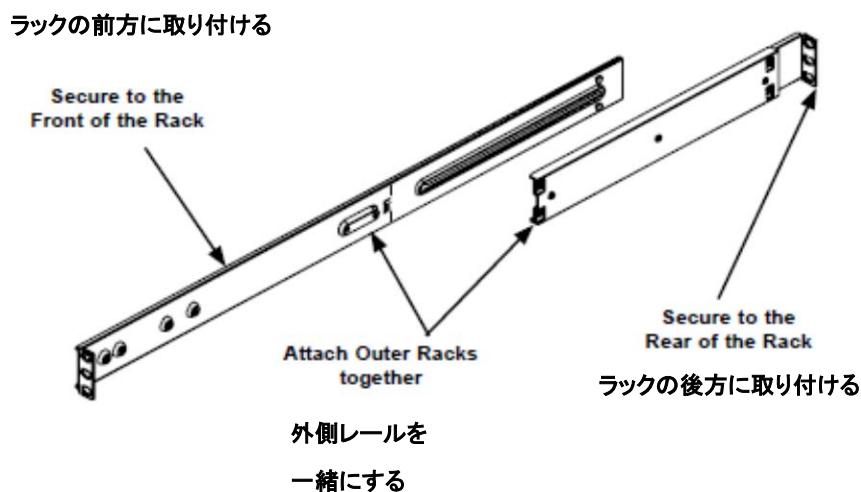


図4-3 外側レールの取り付け

1. 短いブラケットを長いブラケットの外側に取り付けます。ピンとスライドを揃えなければなりません。両方のブラケットの端は、同じ方向を向いていなければなりません。
2. 短いブラケットと長いブラケットの両方を適切な長さに調整して、レールをラックに、しっかり取り付けます。
3. 長いブラケットを外側レールのフロント側に、2つのM5ねじで固定します。短いブラケットを外側レールのリア側に、3つのM5ねじで固定します。
4. 反対側も同様の作業を実施します。

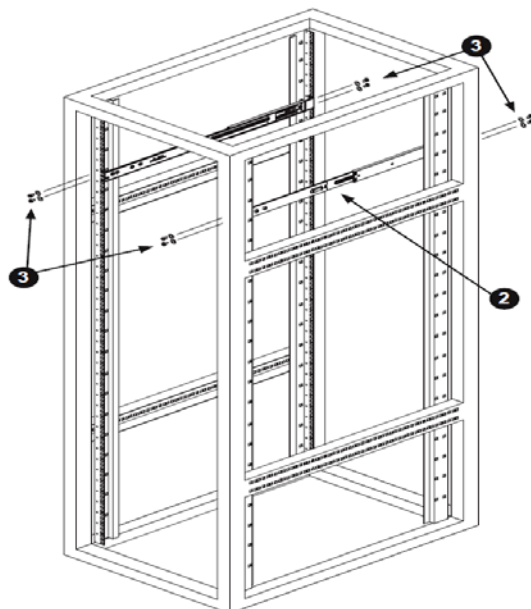


図4-4 サーバラックへの外側レールの取り付け

4.3.3 シャーシのラックへの取り付け

1. 内側レールがシャーシに取り付けられていることを確認します。また、外側レールがラックに取り付けられていることを確認します。
2. シャーシ・レールをラックレールのフロントに揃えます。
3. 左右均等に力をかけながら、シャーシ・レールをラックレールにスライドさせて取り付けます。
(ロックタブのところで挿入できない場合には、ロックタブを押しながら、挿入してください。) 本体がラックに完全に挿入されるとロックタブから“カッチ”とクリック音が聞こえます。
4. (オプション)つまみねじを取り付けて、サーバー前面をラックに固定します。

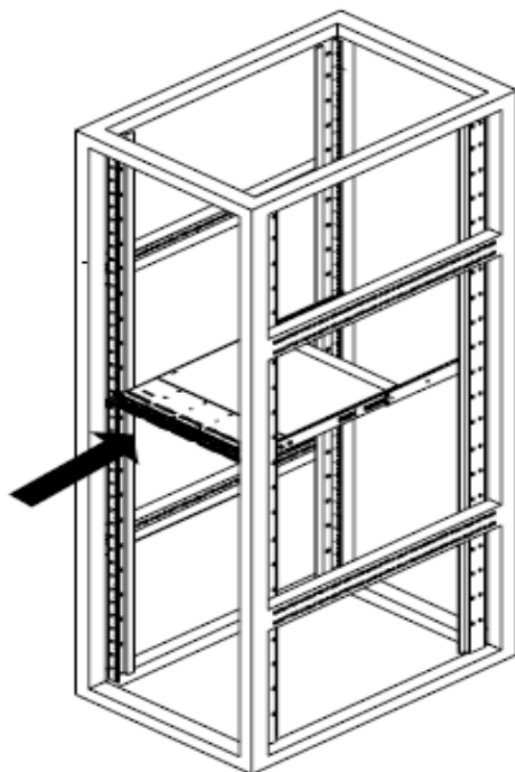


図4-5 サーバーラックへのシャーシの取り付け

4.4 Telco(Two Post) ラックへのマウント

4.4.1 Telco ラックへのシャーシの取り付け

1. シャーシの片側に2つL型のブラケットを使用します。(両側で合計4つ)
2. シャーシがラックの前方向にどれくらい出るか決めます。大きいシャーシの場合、前後の重量のバランスをとって位置を決めます。
3. シャーシの両側の前方へ2つのブラケットを付け、後方へ2つのブラケットを付けます。このとき、後方のブラケットは、Telcoラックの幅に収まるように十分なスペースを取るようにします。
4. シャーシをラックにスライドし、ブラケットをラックにしっかり固定します。

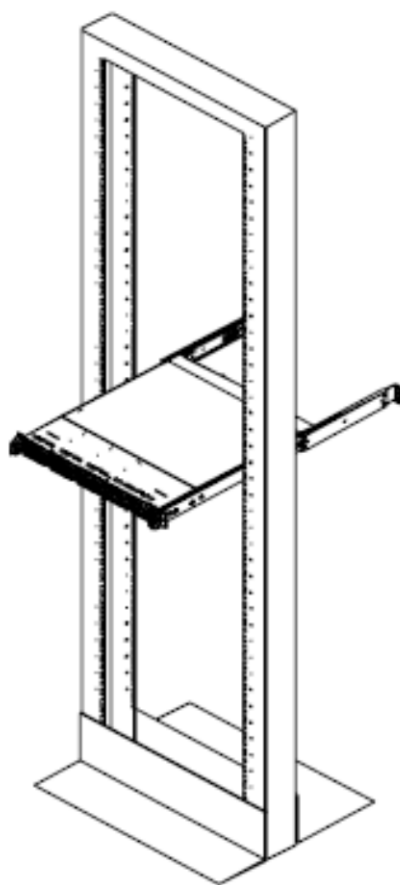


図4-7 Telcoラックへのサーバーの取付け

5 ブートデバイスの変更手順

仮想 CD-ROM よりブートする場合、SSB のブートデバイスの順序を変更する必要があります。ここでは、SSB のブートデバイスを仮想 CD-ROM に設定する手順を紹介します。

5.1 BIOS セットアップ画面を表示する

1. BIOS ログが表示されている画面で、**DEL** キーを押します。

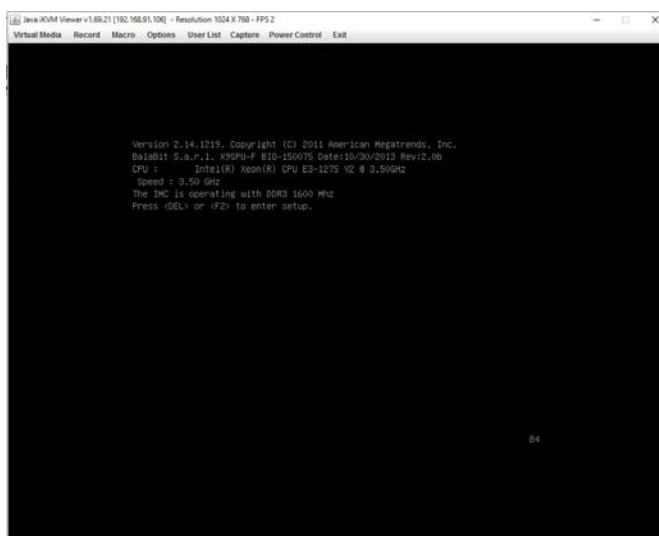


図5-1 BIOS ログ画面

しばらくすると BIOS 設定変更画面が表示されます。

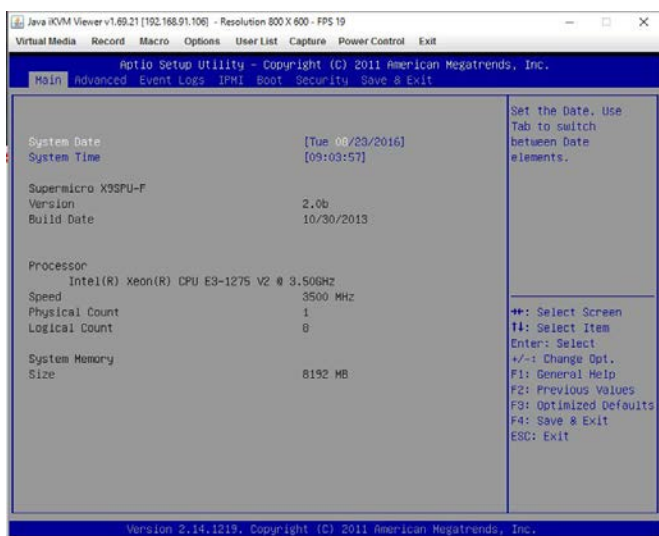


図5-2 BIOS 設定画面

5.2 BOOT デバイスを変更する

上部メニューの **BOOT** を選択し、**Boot Option Priorities** を選び Enter を押します。

1. Boot Option #1 に **IPMI Virtual CD-ROM** を選択します。
2. Boot Option #2 に **PCI RAID adapter** を選択します。

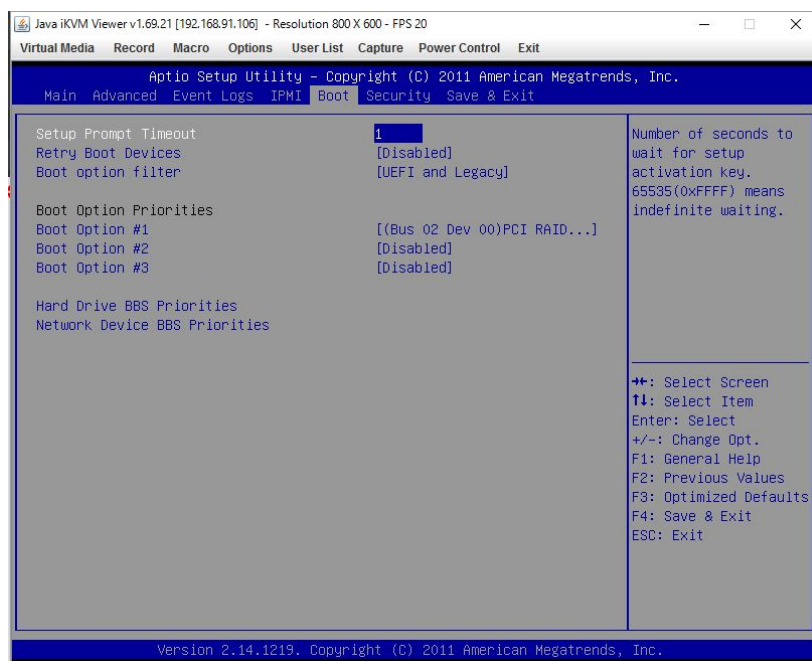


図5-3 BOOT デバイス設定画面

5.3 変更した設定の保存

F4 を押して変更した設定を保存します。

日本語マニュアル発行日 2017年03月29日
本マニュアル参照元は『SuperServer 5017C-URF User's Manual 1.0』です
ジュピターテクノロジー株式会社